

拠出金名:シナイ半島駐留多国籍軍監視団救出金

国際機関等名	シナイ半島駐留多国籍軍監視団 (英文名称・略称) The Multinational Force and Observers(MFO)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当課名	外務省中東アフリカ局中東第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レート		
平成18年度	28,890	260		1\$=111円	(2006年) 0.4	0
平成17年度	28,890	270		1\$=107円	(2005年) 0.5	0
平成16年度	33,000	300		1\$=110円	(2004年) 0.6	0
拠出上位5ヶ国						
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	国際機関等の財政 (2005年度決算)		
1位	エジプト	18,861	32.8	当該年度の収入 57,963千ドル		
1位	イスラエル	18,861	32.8	当該年度の支出 57,980千ドル		
1位	米国	18,861	32.8	次年度への繰越 ▲17千ドル		
4位	独	360	0.6	会計検査機関名		
5位	スイス	271	0.5	Ernst & Young		
上記の率及び順位 は2005年のもの				(現在の構成員の出身国:)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
MFOは、4度にわたり戦火を交えたエジプトとイスラエルとの停戦を確保する組織として、我が国にとり死活的な重要性を有する中東地域の安定のための国際的和平努力の一翼を担っているところ、かかる国際的努力に対する貢献は、中東の平和と安定に貢献してきた我が国にとって不可欠。中東地域の安定が、我が国のみならず国際社会にとり喫緊の課題となる中、同組織が地域の安定確保に果たす役割が益々重要になっている。我が国の拠出額が予算総額の約0.5%程度にすぎないが、MFOにとり、同組織が国際的な協調の下運営されていることを内外に示す上で重要な意義を有するとし、拠出額以上の高い評価を受けている。なお、我が国は、その拠出金の使途を文民職員の給与と食料調達に限定している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
MFOは、現在欧米他11カ国による多国籍軍(1687名)、文民監視団(15名)および職員(107名)の計1809名からなり、高い志気と規律をもって平和維持機能を果たしている。我が国が拠出を開始した88年度と比較して兵員規模で約3割減の人数でほぼ同水準の活動を維持し、コスト・パフォーマンスの高さが認識されている。予算執行も厳しく管理されており、独立の外部監査が入り、毎年報告書を加盟国や拠出国に送付していることも評価される。						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		107 人 0 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。